ルネサス16ビットシングルチップマイクロコンピュータ R5F2LA68ANXXXFP ROM書き込み確認書

ROM番号	

	年	月 日	1
受	課長印	担当者印	<u>[]</u>
付			
欄			

(注)※印をすべて記入ください。

_				·/ - //	KHIC / CHINTING
		中+1. <i>5</i> 2	TEL	発	責任者印
*	貴 社	貴社名	殿()	行	
	記入欄	発行日	年 月 日	印	
- 1					

※1. マスクファイルについて

ご提出いただくマスクファイルの内容については十分にご確認をお願いします。マスクファイルは、CD-Rまたはセミカスタムコード管理システムにてご提出願います。また、CD-Rに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

製品型名	□ R5F2LA68ANXXXFP							
ファイルコード								(16進表示)
マスクファイル名								.MSK(英数字8桁)

※2. 書き込み出荷形態オプション

マスクファイル生成ユーティリティーのマスクオプションには、必ず次の設定をしてください。

□ アドレス:10h □ データ:01h

※3. ユーザで設定が必要な領域のご確認依頼

フラッシュメモリ上にあるオプション機能選択領域(OFSレジスタ、OFS2レジスタ)、IDコード領域に貴社プログラムで適切な値がROMデータとして設定されていることを、ご確認願います。

連絡事項(ルネサス→貴社)

注1. 本製品のROM発注は、データフラッシュ領域の書き込みを行います。

注2. ROMデータご確認依頼

当社ではご提出いただいたファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティーで生成されたマスクファイルのデータによりROM書き込みを行います。したがって、このマスクファイルと生産される製品に書き込まれたROMデータが異なる場合のみ、当社はその責を負います。提出いただくファイルの内容については十分に確認をお願いします。

量産納入の初品にて、必ずシステムとしての機能確認をお願いします。問題があった場合は、 早急にご連絡ください。初品納入後、二週間以内にご連絡無き場合には、問題無かったものと 判断させて頂きます。

注3. マーキング マーキングは図1の様になります。 XXXXXXX R5F2LA68AN yyyFP

yyyはROMコード XXXXXXXはロットNo.

【図1.マーキング図】

ROM番号	

ルネサス16ビットシングルチップマイクロコンピュータ R5F2LA68ANXXXFP ROM書き込み確認書

用条件	

当社製品検査の参考とさせていただきますので、発注される製品の使用条件についてご記入願います。

(1)	電源電圧は、何Vで使用され 標準 =V		最小 =	V	最大 =	_V	
(2)	周囲温度は、何℃で使用され 標準 =℃		最小 =	°C	最大 =	_°C	
(3)	リセットは、どのような条件でで 口 ハードウエアリセット 口 ウォッチドッグタイマリセッ	[ロパワーオ	ーンリセット	口 電圧監視0リセッ	٧ŀ	
(4)	電圧監視0回路は、次のどの 電圧検出0レベル選択	ような設定で使 ロ 使用する ロ 3.80V	使用されます	「か? □ 2.85V	□ 使用しない □ 2.35V	□ 1.90V	
(5)	電圧監視1回路は、次のどの 電圧検出1レベル選択	ような設定で使 口 使用する 口 2.20V 口 2.80V 口 3.40V 口 4.00V	使用されます	「か? □ 2.35V □ 2.95V □ 3.55V □ 4.15V	□ 使用しない □ 2.50V □ 3.10V □ 3.70V □ 4.30V	☐ 2.65V ☐ 3.25V ☐ 3.85V ☐ 4.45V	
(6)	電圧監視2回路は使用されま	すか? 口 使用する			□ 使用しない		
(7)	高速クロックは、どのような条 高速オンチップオシレータ 周波数 分周モード			□ 18.432MHz	口 使用しない		
	XIN-XOUT発振 発振子タイプ 周波数 負荷容量 内蔵帰還抵抗 発振停止検出機能		共振子 MH	□ 使用しない □ 水晶発振 z	□ 外部クロック入: □ その他(XOUT側 = □ 使用しない(□ 使用しない	カ pF)
(8)	低速クロックは、どのような条 XCIN-XCOUT発振 発振子タイプ 周波数 負荷容量 内蔵帰還抵抗	件で使用され 口 使用する 口 水晶発振 f(XCIN) = XCIN側 = 口 使用する	kI	□ 使用しない □ その他(XCOUT側 = 口 使用しない() pF	Ω)

R01MR0163JJ0101 Rev.1.01

ROM番号	

ルネサス16ビットシングルチップマイクロコンピュータ R5F2LA68ANXXXFP ROM書き込み確認書

(9) システムクロック分周比は、	主にどの設定で使用される 口 分周なしモード 口 8分周モード	□ 2分周モード	□ 4分周モード
(10) パワーコントロールは、次の	Dどのモードを使用されま [・] □ ウェイトモード □ パワーオフ0モード	すか?(複数選択可)	□ ストップモード □ パワーオフ2モード
(11)フラッシュメモリは、次のどの CPU書き換えモード ROMコードプロテクト	Dような設定で使用されま □ 使用する □ 使用する	すか?	□ 使用しない □ 使用しない
(12) タイマは、次のどのような設 タイマRB 動作モード カウントソース	定で使用されますか? □ 使用する □ タイマモード □ プログラマブル波形 □ f1 □ f2	ロ プロ 発生モード ロ プロ	用しない 1グラマブルワンショット発生モード 1グラマブルウェイトワンショット発生モード Jのアンダフロー
タイマRC 動作モード カウントソース	□ 使用する□ タイマモード□ PWMモード□ f1 □ f2□ fOCO-F	□ インプットキャプチャ□ PWM2モード□ f4 □ f8□ TRCCLK	□ 使用しない 機能 □ アウトプットコンペア機能 □ f32 □ fOCO20M
タイマRH 動作モード カウントソース	□ 使用する □ アウトプットコンペア ⁻ □ f8 □ f32 □f8192 □fc-TRH	モード □ f256 □f512	□ 使用しない □ リアルタイムクロックモード □f2048 □f4096
タイマRJ 動作モード カウントソース	□ 使用する □ タイマモード □ パルス幅測定モード □ f1 □ f2 □ タイマRJのアンダフロ	☐ f8 ☐ f0C0	□ 使用しない □ イベントカウントモード □ パルス周期測定モード □ fC32 □ fC
(13) 通信関連は、次のどのよう UARTO 動作モード	な設定で使用されますか ケロ 使用する ロ クロック同期形シリア		□ 使用しない □ クロック非同期形シリアルI/O モード
UART2 動作モード	□ 使用する □ クロック同期形シリア □ 特殊モード1(I2Cモー		□ 使用しない □ クロック非同期形シリアルI/O モード □ マルチプロセッサ通信機能
シンクロナスシリアルコミュニ 動作モード	ニケーションユニット(SSU) ロ クロック同期式通信=		□ 使用する □ 4線式バス通信モード
I2Cバスインタフェース 動作モード	□ 使用する □ I2Cバスインタフェー	スモード	□ 使用しない □ クロック同期式シリアルモード

R01MR0163JJ0101 Rev.1.01

ROM番号	

ルネサス16ビットシングルチップマイクロコンピュータ R5F2LA68ANXXXFP ROM書き込み確認書

(14) A/Dコンバータは、次のどの)ような設定で使用されまっ	すか?		
	□ 使用する		□ 使用しない	
A/D入力端子	使用A/D入力端子数 =_	本		
変換モード	□ 8ビットA/D		□ 10ビットA/D	
A/Dクロックソース	☐ f1		☐ fOCO-F	
分周比	□ 分周なし	□ 2分周	□ 4分周	口 8分周
A/Dトリガ	□ ソフトウエア	□ タイマRH	□ タイマRC	□ 外部トリガ
	□ 使用しない			
A/D動作モード	□ 単発モード	□ 繰り返しモード0	□ 繰り返しモード1	
	□ 単掃引モード	□ 繰り返し掃引モード	掃引端子数 = <u></u>	本
断線検出アシスト機能	□ 使用する		□ 使用しない	
ゲインアンプ	□ 使用する		□ 使用しない	
ゲイン選択	□ ゲイン1	□ ゲイン2	□ ゲイン4	
	□ ゲイン6	□ ゲイン8		
(15) 温度センサは、次のどのよ		٧.		
	□ 使用する		□ 使用しない	
ゲインアンプ	□ 使用する		□ 使用しない	
ゲイン選択	□ ゲイン1	□ ゲイン2	□ ゲイン4	
	□ ゲイン6	□ ゲイン8		
(16) コンパレータBは、次のどの	ような設定で使用されます	t 1) 2		
コンパレータB1	□使用する	<i>1</i> 3. :	□ 使用しない	
デジタルフィルタ	□ 使用する		□ 使用しない	
コンパレータB3	□ 使用する		□ 使用しない	
デジタルフィルタ	□ 使用する		□ 使用しない	
1 2 3 10 2 1 10 3	口使用する		口 使用しない	
(17) LCD駆動回路は、次のどの	ような設定で使用されます	-か?		
	口使用する		□ 使用しない	
使用LCD端子	使用コモン端子数 =	*	使用セグメント端子数 =	本
バイアス値	□ 1/2バイアス		(X/11 C) / 2 2 1 1 3	т
使用LCDパネル	□ 5V系	L 1/0/11/7X	□ 3V系	
Chileop, Man	□ メモリ性液晶パネル		□ その他()
LCDクロックソース	☐ f32		☐ fC-LCD	,
分周比	□ 2分周	□ 4分周	□ 8分周	□ 16分周
/) 14] 14	□ 32分周	□ 64分周	□ 128分周	口 10/1/回
外付け分割抵抗	□ 52万周□ □ 使用する		□ 使用しない	
LCD電源電圧(VL3)の		']ν = V		V
分割抵抗値	記囲 取り 1本の抵抗(収入	, v
フレーム周波数=	T本の抵抗I	店 —		
ノレ → □ □ □ □ □ □ □ □ □	1 14			

R01MR016	63JJ0101
	Rev.1.01

ROM番号	

ルネサス16ビットシングルチップマイクロコンピュータ R5F2LA68ANXXXFP ROM書き込み確認書

(18) ウォッチドッグタイマは、次のどのような設定で使用されますか?						
	口 使用する		□ 使用しない			
カウントソース	□ CPUクロック	□ ウォッチドッグタイマ	用低速オンチップオシレー	タクロック		
プリスケーラ	□ 2分周	□ 16分周	□ 128分周			
アンダフロー周期	□ 03FFh	□ 0FFFh	☐ 1FFFh	☐ 3FFFh		
リフレッシュ受付周期	□ 25%	□ 50%	□ 75%	□ 100%		
ウォッチドッグタイマ起動選択ビット						
□ リセット後、ウォッチドッグタイマは自動的に起動						
□ リセット後、ウォッチドッグタイマは停止状態						
リセット後カウントソース保護モード選択ビット						
□ リセット後、カウントソース保護モード有効						
□ リセット後、カウントソース保護モード無効						

ご協力ありがとうございました。